

学校名	福島市立岳陽中学校	校長名	吉 田 務		
住 所	福島県福島市須川町1番地の33	児童生徒数	380	学級数	12
T E L	024-534-6171・6172	ホームページアドレス			

基礎力を身に付け、自主的・意欲的に学ぶ生徒の育成
 ～ T・Tを活用した学力向上への取組を通して ～

1 少人数指導の計画

社会科、数学科において組織的、継続的なT・Tによる指導を実践する。

(1) 社会科における取組の方針

- ① 基礎基本の確実な定着を図る。
- ② 課題解決学習の充実を図る。
- ③ T・Tを担当する指導者双方の得意分野を生かす。

(2) 数学科における取組の方針

- ① 第2学年において、年間を通じてT・Tによる授業を実践する。
- ② 特定の単元において、生徒の希望に応じて2コースに分けて習熟度別授業を実施する。
- ③ T・Tによる生徒個々への支援の回数を増やす。

2 実践の概要

(1) 社会科における実践

- ① T・Tの授業での確認テストの実施ときめ細かな評価の充実
 - ・ 第1学年、第2学年において毎週1時間のT・Tの授業を設定し、毎回確認テストを実施した。つまづいている点についてわかりやすいポイントを記入したり、よい点を称賛したりしてきめ細かく行うことで、基礎基本の着実な定着が図られた。
- ② 課題解決学習におけるコース別学習の実施
 - ・ 第2学年「東北地方」(東北の魅力をPRするパンフレットを作ろう)の授業で、学級を2つのコースに分けてT・Tによる課題解決学習を行った。その結果、生徒は表現を工夫した作品を完成させることができた。(次頁の作品参照)
- ③ 指導者双方の得意分野を生かすT・Tの実施
 - ・ 第1学年「世界の諸地域」のヨーロッパ州の授業において、T1とT2を入れ替えて授業を実施した。教員の得意分野を生かすことで生徒の興味・関心を引き出すことができた。
 - ・ 写真や映像を用いた学習の際、T2が資料の準備と視聴覚機器の作業を行うなど役割を分担して授業を行うことができた。

(2) 数学科における実践

- ① 単元「1次関数」における基礎コースと応用コースのコース別授業の実践
 - ・ 2つの数量の関係を式に表す場面で、同じぐらいの学力の生徒同士の班活動を意図的に設定した。教師が、班の実態に応じて適切な指示や発問をしたので、徐々に自分たちで話合いができるようになり、授業の活性化につながった。
 - ・ 同じ所つまづいている生徒が多い場合は、全体で生徒の考えをつないだり、比較して関連付けたりしながら説明したので、多くの生徒が理解を深めることができた。
 - ・ 基礎的な知識・理解の習得のため、コースに応じた難易度の学習プリントを用いた。コースごとに、つまづいたり悩んだりする部分の大きい同じであったので、生徒は互いに協力して解決しようとしていた。
- ② 単元「式の計算」及び「平行と合同」において苦手意識をもつ生徒を中心に学力の向上を図る実践
 - ・ T2が主になり、学習内容が十分に理解できない生徒への支援にあたった。プリントを用いて基礎的事項をT2が丁寧に説明した。
 - ・ 家庭学習用の基礎プリントの解答、説明等を継続して行うことで、生徒の学習習慣が徐々に定着し、意欲的に取り組む姿が見られた。
 - ・ 特に図形の単元で、T1・T2が班の話合い活動に関わり、生徒の考えを生かしながら課題解決の支援を行った。

3 実践の成果と課題

- T・Tにより年間を通して一人一人に届く指導を継続して進めたことや、教員の得意分野の強みを授業に生かすことで、生徒の社会科に対する興味・関心が高まり、生徒の社会認識を深めることができた。
- 数学科では、学習プリントを工夫し、難易度を加味した問題を作成することで、T1・T2による個に応じた支援がしやすくなった。そして、習熟度別にした少人数の授業で教師が、意図的に関わり、コーディネートすることで、生徒一人一人の能力を高めることにつながった。
- T1とT2の1時間ごとの役割分担を一層明確にして、T1もT2もより多くの生徒を支援していく必要がある。また、単元の内容を踏まえ、習熟度別にする単元をさらに設定して生徒一人一人の学力向上につなげていくことが課題である。

東北のゆるキャラ大紹介!

秋田県 『あきっ子』



身体
秋田県
エターフ

「ゆるキャラ王選手権」
2010年組で1位!

みんなの元気を応援するのが
大好きな森の妖精 兼 秋田
県職員

2008年には主任となり、秋田県
のゆるキャラとしてテレビ出演
もするなど 更に活躍!

スゴイ!
社会人として全然ダメ!?
スゴい人は小丸含めても
一言も踏まれないため、
主任というだけで疑問の声が-

青森県 『いっせえもん』



青森で産していた妖精。旅する間に
青森がとてお気に入り、青い森に住
みつけた。

青森の旅の心地良さ、心から湧き
出る魅力を、訪れる方々に紹介
している。

質問: Q. 特技は何ですか?

A. 消臭い投げ
「消臭」
「いっせえもん」
「消臭い投げ」
「消臭い投げ」
「消臭い投げ」



山形県 『やまがた』



山形県農産物のPRの
ため、シンボルマークとして
考案された。多くの人に
親しまれ、キャラクターに
小さく、明るく、ユーモア
あふれる姿を慕い誕生。

「やまがた」
「やまがた」
「やまがた」
「やまがた」
「やまがた」



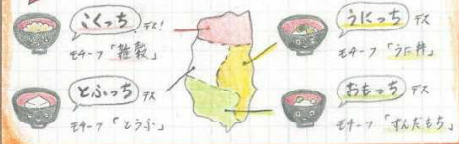
岩手県 『わんこきょだい』



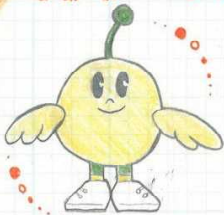
地方のよさを
広める

岩手名物の「わんこきょだい」
と国内生産量日本一の岩手
の漆を使った「漆器」を
かけ合わせたキャラクター。

わんこきょだい



福島県 『きびたん』



福島県の復興シンボルキ
ャクター。みんなとふくしま
を繋ぐ架け橋として活躍中。
現在は「ふくしまから はじめよう」
を合言葉に復興のため
がんばっている。



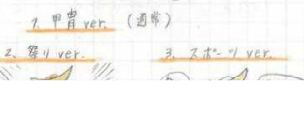
宮城県 『むすび丸』



なんど
名付け親は
東北に在住の女性!

豊かな食文化に恵まれた宮城
を「むすび丸」で表現し、「伊弉
諾尊」を象徴する伊達政宗の兜、飾
りをつけた擬人化した。
仙台・宮城観光PRキャラクター。

いろんなむすび丸



参考資料 (青森県観光振興局ホームページ、いわての旅-いわて観光/銀河水-94サイト、
宮城観光振興局、仙台・宮城観光ホームページ、伊達協議会公式サイト、
あけい山形県ホームページ、ゆるキャラサ-ン等)

作成者